

健康応援トピックス

6月4日から10日は歯と口の健康週間です。



歯と口腔の疾患と全身の関係について紹介します。『第2次あま市健康づくり計画』の中間評価におけるアンケートの結果では、歯と口腔の健康と関連があることを知っているものとして最も多かったのは「誤嚥性肺炎」が42.4%でした。次いで、「知らない」が40.1%、「糖尿病」が19.5%という結果でした。

糖尿病になると、歯周病の進行が早まり、歯周病は「糖尿病の6番目の合併症」とであると認識されています。また、歯がほとんど無く、義歯（入れ歯）を使用していない人は認知症発症のリスクが高くなることが分かっています。一部のがんの手術においては、事前に口の細菌を減らすことで手術後の傷の感染や肺炎などのリスクを減らすことが出来るという事も明らかになってきています。歯と口腔の健康を守り、全身の健康につなげましょう。

歯と口腔の病気と関連がある状態として誤嚥性肺炎を含む肺の病気・認知症・糖尿病・心筋梗塞・骨粗しょう症・がん・脳卒中・低出生体重児の出生等が挙げられます。

問 甚目寺保健センター ☎ 443・0005



ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症(子宮頸がん)予防接種について

平成25年6月以降、厚生労働省の勧告に基づき、接種を積極的にお勧めすることを差し控えていましたが、ワクチンの有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、令和4年4月から個別の勧奨を再開しました。

予防接種を受けようとする場合には、ワクチンの効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持ったうえで接種の判断をしてください。厚生労働省のウェブサイトにはワクチンの有効性や安全性について掲載されていますので、接種の判断の参考にしてください。

1.対象者

- ①平成21年4月2日から平成26年4月1日生まれまでの女子(小学校6年生～高校1年生相当)
- ②平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれまでの女子のうち、令和4年4月1日から令和7年3月31日の間に1回以上接種済みの方

2.接種期間

対象者①：16歳となる日の属する年度の末日まで 対象者②：令和8年3月31日まで

3.接種方法

ワクチンはサーバリックス(2価)、ガーダシル(4価)、シルガード9(9価)の3種類があります。接種回数・間隔は接種するワクチンの種類や接種開始年齢により異なります。標準的な接種間隔



は右の表となります。いずれのワクチンも1年以内の接種完了が望ましいとされています。

4.費用 無料【前述の接種期間内に接種した場合に限ります】

5.接種当日の持ち物 予診票及び接種済証、母子健康手帳、マイナ保険証 等

○指定医療機関で接種できない方は、接種前に保健センターまでお問い合わせください。

○HPV感染症予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口については、愛知県のウェブサイトに掲載されていますので参考にしてください。

問 甚目寺保健センター ☎ 443・0005

七宝保健センター ☎ 441・5665

美和保健センター ☎ 443・3838